



平成 28 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 ナカノフドー建設
代 表 者 名 取締役社長 竹谷 紀之
(コード番号 1827 東証 1 部)
問 合 せ 先 経営企画部長 黒岩 裕司

中期経営計画「中計 77」策定のお知らせ

当社は、この度、2017 年 3 月期(第 75 期)から 2019 年 3 月期(第 77 期)の 3 ヶ年を計画期間とする、中期経営計画「中計 77」を策定しましたので、お知らせ致します。

当社グループは、2013 年 5 月に前中期経営計画を公表、「変化する市場環境に創意を以って即応、国内・海外の収益基盤を磐石にし、創業 100 年に向けて強靱な企業体質を構築する」を基本方針とし、自己資本の充実と株主配当 6 円(3 円増配)を目指し、収益力の強化に取り組んで参りました。その結果、国内・海外共に完成工事利益率が改善、最終年度(第 74 期)の連結営業利益は目標の 22 億円を大幅に上回り(第 3 四半期決算時点の予想通期営業利益：43 億円)、連結自己資本額も 200 億円を超え、74 期は計画通り 6 円の配当を実現できる見通しとなりました。

足許の国内建設市場は、2020 年度の東京五輪開催に向け、旺盛な建設投資が期待されていますが、2017 年 4 月には消費税の再引上げが予定されており、又、技能労働者不足等の構造も変わり無く、当面難しい受注環境が続くと予想されます。当社が事業展開している東南アジアは経済成長が続いており、今後も拡大が期待できるマーケットですが、昨夏の中国ショックにより東南アジア全体の景気が減速しており、建設投資への影響が懸念される状況です。

新中期経営計画「中計 77」は、引続き「量より質」の大方針に基づき、足許の収益の維持拡大を図ると共に、今後の市場環境を見据えて、将来の礎となる強い競争力を構築する事に主眼を置いています。マーケットの変化に応じて会社を変革し、新時代を切り拓きます。中計 77 の目標達成に向け、全社一丸となり、全力で取り組んで参りますので、引続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 中計 77 基本方針

将来の市場環境を見据え、競争力と収益力を更に強化し、
国内と海外が一つになって新時代を切り拓く

2. 経営目標（2019年3月期 数値目標）

(1) 建設事業売上高合計 1,200 億円以上

(2) 連結営業利益 35 億円以上

(3) 連結自己資本 260 億円以上

(4) 株主配当 6 円以上

3. 国内建設事業の基本方針と主要施策

〔基本方針〕

5年後の国内建設新築需要の縮小を見据え、収益力の更なる向上を図ると共に、市場が拡大するリノベーション分野の受注 200 億円を目指して体制を強化する

(1) ソリューション営業の更なる強化による競争優位分野での受注拡大

(2) マーケットが拡大するリノベーション事業の強化

(3) 技術力とコスト競争力の強化による高収益体質の確立

(4) 品質管理の更なる向上と

ナカノフドーSMS(Safety Management System)の徹底

4. 海外建設事業の基本方針と主要施策

〔基本方針〕

5年後の海外600億円体制を目指し、向こう3カ年は営業体制を整備すると共に、施工面ではローカル社員を計画的に育成して、堅固な500億円体制を構築する

- (1) 拠点により建物用途が偏重している受注を見直し、営業体制を強化
- (2) 集中購買拡大、原価管理強化、工業化・省力化推進等による収益力向上
- (3) ローカル社員の中長期的育成による
更なる品質の向上とローカル化の推進
- (4) ガバナンスと内部管理体制の強化

5. 人材面の施策

- (1) 「けんせつ小町」の育成等、女性活躍の推進
- (2) 有給休暇の取得促進等、労働環境の更なる改善による魅力ある職場作り
- (3) 海外教育研修部によるローカル社員の現場管理者育成
- (4) ナカノトレーニングセンター(タイ)に於ける実践的な安全・品質教育

以 上